

## ベナン月報(2015年1月)

### 主な出来事

#### 【内政】

- 9日、憲法裁判所は恒久電子化選挙人名簿(LEPI)の完成期限を1月15日、国民議会選挙の実施を4月26日、地方議員選挙を5月31日に行わなければならない旨決定を下した。
- 26日、暫定電子化選挙人名簿(LEIP)の掲示が、ポルト・ノヴォで開始された。

#### 【外政】

- 6日、コトヌでベナン・ニジェール合同閣議が開催され、両国の開発、とりわけコトヌ・ニアメ間を結ぶ鉄道の開発など、交通インフラ面での協力が約束された。(7日, La Nation 紙)
- 18日、コトヌ市において、西アフリカ経済通貨同盟(UEMOA)加盟国の8カ国の首脳が参加する第18回サミットが開幕し、加盟国における経済開発、平和構築などについて話し合われた。

#### 【経済】

- 16日、ベナン政府と西アフリカ開発銀行(BOAD)との間で、ベナン国内の道路の舗装、橋の建設のため、214億 FCFA の借款協定が締結された。
- 23日、フランス、EU 及び欧州投資銀行は、アトランティック県における電力網整備事業に対し5800万ユーロの支援を行うことに合意し、協定への署名を行った。(26日, La Nation 紙)

※下記内容は、La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, La Nouvelle Tribune 紙および L' Autre Quotidien 紙の記事を元に記載したものです。

#### 【内政】

- ・ (2014年12月31日)アワル・ジブリル・ブコ・ナニミ (M. Awal DjibrilBouko Nagnimi) 前憲兵隊長がベナン統合参謀総長 (Chef d' état-major des Forces Armées Béninoises ) に就任(2日, La Nation 紙)
- ・ (2014年12月31日)エミル・エロモン (M. Emile Elomon) 大佐が憲兵隊長に就任。(5日, La Nation 紙)
- ・ 1日、ヤイ大統領は野党 UN 代表のアムス氏 (M. Bruno Amoussou) のもとを訪れ、今後の政治や選挙の実施について意見交換を行った。(5日, La Nation 紙)
- ・ 2日、5大野党の代表が会合を開き、選挙の実施に向けた政治対話再開の条件として、政党による公的メディアへのアクセスの平等化及びベナン共和国憲法改正案の撤回を求めた。(5日, La Nation 紙)
- ・ 4日、アリボリ県において、与党 FCBE のアズィズ (M. El Hadji Issa AZIZOU) 農業・畜産・漁業大臣らが、数万人を動員し、ヤイ大統領の開発政策の支持の表明、野党への批判を行うキャンペーンを行った。同キャンペーンにはバコ (M. Nassirou BAKO-ARIFARI) 外務大臣他、数人の現職官僚も参加した。(6日, Le Matinal 紙)
- ・ 5日、ボイコン市にある中国企業の木材保管倉庫から出火。倉庫は全焼するが、死者はなし。

(6日, La Nation 紙)

- ・ 6日、コトヌ市エトワール・ルージュ広場付近でバイクとトラックが正面衝突し、バイクに乗っていた男性が死亡した。同日、アグラ地区においても同様の事故が発生し、男性が死亡した。

(7日, Le Matinal 紙)

- ・ 7日、コリン県ウイニ・ペデポ市の路上で4台の乗用車がおよそ10名の武装強盗に襲撃され、数百万 FCFA が強奪された。3名が重傷を負い、犯人グループは逃走中。(8日, La Nation 紙)

- ・ 8日、カンデ・ガザル (Mme. Dorothée Kindé Gazaerd) 保健大臣は、アタコラ県、ドンガ県におけるラッサ熱の終息を宣言した。(9日, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙)

- ・ 8日、2015年の国家予算1兆5066億 FCFA の執行が開始された。(9日, La Nation 紙)

- ・ 8日早朝、ナイジェリア国境のポベ市イサレ・リベレ村において、憲兵隊とナイジェリアから来たプル族の遊牧民グループとの衝突が発生し、憲兵隊3名が死亡、2名が負傷した。このプル族の遊牧民グループは以前から度々この村を襲撃していた。(12日, Le Matinal紙)

- ・ 8日、国民議会において、地方議員候補資格(仏語の読み書き能力の義務化および地方公務員の立候補に関する制限)に係わる選挙法の改正につき議論が行われた。(9日, La Nation 紙)

- ・ 9日、憲法裁判所は LEPI の完成期限を1月15日、国民議会選挙の実施を4月26日、地方選挙を5月31日に行わなければならない旨決定を下した。(12日, La Nation 紙, Le Matinal 紙, L' Evénement Précis 紙, L' Autre Quotidien 紙)

- ・ 12日、国民議会において地方開発援助資金(FADeC)の運用に関する審査が開始された。議会によると、現在同資金は透明に運用されておらず、現在進められている地方分権化を一時停止させ、腐敗した地方首長や公務員を提訴する必要があるとしている。(13日, La Nation 紙, L' Autre Quotidien 紙)

- ・ 13日、ニッキ市ソンソレ村において、武装強盗が数台のタクシーを襲撃。2名の乗客が銃で撃たれ負傷、数百万FCFAが持ち去られた。(14日, Le Matinal紙)

- ・ 14日、世界遺産であるアボメイ王宮において火災が発生し、一部が焼失した。(15日, Le Matinal紙)

- ・ 14日、COS/LEPI は、暫定 LEIP を公開し、LEPI を2月23日までに完成版w作成することを発表した。(15日, La Nation 紙)

- ・ 15日、ズー県アボメイ市において、アボメイ大学センター(Centre Universitaire d' Abomey)建築技術学部(Ecole des sciences et techniques du bâtiment et de la route /ESTBR)の学生が、試験日程の変更を求め大学側に抗議、大学の建物に火を放った。(16日, La Nation 紙)

- ・ 15日ベナン国営放送(ORTB)のオジラス・スヌブ氏(M.Ozias Sounouvou)とその同僚は、ベナン政府に対して公開書簡で同放送局の報道の自由化を要求した。(16日, Le Matinal 紙)

- ・ 23日、COS/LEPI は、暫定 LEIP を26日から2月15日まで各地域の投票所で公開し、国民に最後の確認及び登録手続きを求めるとした。また、この名簿はCOS/LEPIのウェブサイトで

も確認可能である。(26日, La Nation 紙)

- ・ 25日、ナイジェリア国境のンガリで大量の自動小銃や拳銃を隠していた車が発見。銃器は押収された。(26日, Le Matinal 紙)
- ・ ボルグ県、及びアリボリ県を走る道路において事故が頻発している。3日に1名は死者、2日に1名は重傷者、3日に1名は軽傷者を出しており、国家道路安全センター(CNSR)は、スピードの出し過ぎや無茶な運転、運転中の不注意が主な要因であるとしている。(28日, La Nation 紙)
- ・ 26日、LEIP の掲示が、ポルト・ノヴォで開始された。しかし、アタコラ県など、ほとんどの県ではいまだ開始されていない。(27日, La Nation 紙)
- ・ 26日、国民議会で子供の人権保護に関する法案が可決された。(27日, Le Matinal 紙)
- ・ 27日、スマヌ (M. Alassane Soumanou Djimba) 中等教育・技術職業訓練・再教育・青年統合大臣は、11名の代表者で構成される官民共同若者支援ネットワーク委員会 (Comité directeur national du Réseau des structures publiques et privées de reconversion et d'insertion des jeunes) を設置、学位を持つ若者の就職支援を強化するとした。(28日, La Nation 紙)

#### 【外政】

- ・ 6日、コトヌでベナン・ニジェール合同閣議が開催され、両国の開発、とりわけコトヌ・ニアメ間を結ぶ鉄道の開発など、交通インフラ面での協力が合意された。(7日, La Nation 紙)
- ・ 8日、フランス・パリで発生したシャルリー・エブド襲撃事件に関して、バコ外務大臣をはじめとする政府代表団がフランス大使館を訪れ、テロで亡くなった方々への弔意を表した。(9日, La Nation 紙)
- ・ 18日、コトヌ市において、西アフリカ経済通貨同盟 (UEMOA) 加盟国の8カ国の首脳が参加する第18回サミットが開幕し、加盟国における経済開発、平和構築などについて話し合われた。(19日, La Nation 紙, le Matinal 紙, 20日, L' Autre Quotidien 紙, La Nouvelle Tribune 紙)
- ・ 23日、スイス、アンゴラ、アルジェリア、パキスタン及びコロンビアの新任大使がヤイ大統領に信任状の捧呈を行った。(26日, La Nation 紙)
- ・ 26日、ベナン海軍の対海賊パトロール部隊に対して、ベルギー政府の技術チームによる研修が開始された。(28日, La Nation 紙)

#### 【経済】

- ・ 14日、コトヌ市ゾング地区においてベナン鉄道 (Benirail) 中央駅の落成式が行われた。この駅は、今後コトヌ・パラク・ニアメ間の国際鉄道網の整備に向け改修される予定の18駅の最初の一つである。(15日, La Nation 紙)
- ・ 16日、ベナン政府と西アフリカ開発銀行 (BOAD) との間で、ベナン国内の道路の舗装、橋の建設のため、214億FCFAの借款協定が締結された。(19日, Le Matinal紙)

- ・ 17日、ヤイ大統領はコトヌ市アミティエ・スタジアムで行われた新年の挨拶において、政府が運営するマイクロ・クレジットプログラムへの150億 FCFA の追加支出を表明した。(19日, La Nation 紙, L' Autre Quotidien 紙)
- ・ 20日、西アフリカ開発銀行、ECOWAS 開発投資銀行及びベナン政府の出資(総額540億 FCFA)によるパラク市とジュグ市を結ぶ道路の舗装工事が開始された。(21日, La Nation 紙)
- ・ 21日、ベナン政府が鳥インフルエンザの発生したナイジェリアからの鶏肉や鶏卵の輸入を禁止している中、ナイジェリア国境のベシロメデ市で2150羽のひよこが押収された。(22日, La Nation 紙)
- ・ 23日、フランス、EU 及び欧州投資銀行は、アトランティック県における電力網整備事業に対し5800万ユーロの支援を行うことに合意し、協定への署名を行った。(26日, La Nation 紙)